

No. 160

平成26年4月発行



北塩原村 KITASHIOBARA

☎(0241)23-3263 〒966-0485 北塩原村大字北山字姥ヶ作3151
HPアドレス <http://www.vill.kitashiobara.fukushima.jp/gikai/>

発行/北塩原村議会 編集/議会広報調査特別委員会(TEL 0241-23-3263)

目次

3月定例会報告…2～4

審議結果一覧……5～6

一般質問……7～13

おしらせ……14

議会だより

3月議会

むらの宝 輝け未来へ



さくら小学校入学式

**26年度予算
31億5,149万円**

過去5番目規模の積極予算！！

平成26年度の村一般会計予算は31億5,149万円となりました。

前年度と比較すると6,800万円の増となり、また一般会計当初予算としては過去5番目の規模の大規模予算となっています。

平成26年度は村制施行60周年記念の年であり、震災からの復興を大きく進めるとともに、力強く発展していくための村づくりを行う予算となっている。

村議会は、魅力ある北塩原村として飛躍するよう、この予算が適切かつ効果的に執行されることをしっかりと監視してまいります。

反対 討論

小 椋 元 議員

この予算案には福祉灯油制度など弱者を守るための事業に予算が配分されていない。

その反面、私は無駄な事業と考えている「ラビスパ裏磐梯」の事業には多くの予算が配分されている。

こうした事業にあてている予算を福祉や高齢者のための施策にあてていくべきとの考えから原案について反対する。

賛成 討論

遠藤 祐一 議員

一般会計当初予算案は、地域住民のため、そして地域の発展のための予算であり、原案について賛成する。

| | | |
|---------------------------------|--|------------|
| 国民健康保険 特別会 計 | 医療機関にかかったときの医療費の一部を援助するための会計 | 4億1,870万円 |
| 簡易水道事業 特別会 計 | 水道を安全で安定的に使用してもらうための会計 | 1億5,615万円 |
| 特定環境保全下水道 事業特別会 計 | 北山、大塩、裏磐梯地区の下水道整備・維持管理するための会計 | 3億9,091万円 |
| 簡易排水施設事業 特別会 計 | 小野川地区の下水道整備・維持管理するための会計 | 191万円 |
| 農業集落排水事業 特別会 計 | 桧原、金山、早稲沢地区の下水道整備・維持管理するための会計 | 4,305万円 |
| 介護保険事業 特別会 計 (保険事業勘定) | 介護が必要となった方を対象に介護サービスの給付を行うための会計 | 3億3,144万円 |
| 介護保険事業 特別会 計 (介護サービス事業勘定) | 要支援の認定を受けた方を対象に村直営でサービス計画(ケアプラン)を提供するための会計 | 141万円 |
| 後期高齢者医療 特別会 計 | 高齢者の医療に係る保険料を管理するための会計 | 3,132万円 |
| 計 | | 13億7,489万円 |

3月定例会あらまし

3月定例会が3月7日から14日までの8日間の会期で開催され、第1日目に、「第21期株式会社ラビスパ事業報告及び決算書について」の報告を受け、その後、一般質問を行い3名の議員が農業の振興などを取り上げ、村政をただしました。

第2日目は、初日に引き続き4名の議員が一般質問を行いました。

第3日目には、平成26年度の各会計予算案8件、条例案26件、平成25年度各会計補正予算案5件について説明を受けました。

第4日目には、各常任委員会を開催しました。

最終日には、各議案についての質疑、討論、採決を行い、39議案について原案のとおり可決し、閉会しました。

なお、今期定例会の傍聴者は19人でした。

【3月定例会提出議案の概要】

議案第2号 北塩原村生活支援ハウス指定管理者の指定について

生活支援ハウス「シャルムハウス」の指定期間満了に伴う指定。

指定管理者：「社会福祉法人 芙蓉会」、指定期間：平成26年4月1日～平成36年3月31日

議案第3号 北塩原村立学校施設使用料条例の一部を改正する条例

議案第4号 北塩原村体育施設条例の一部を改正する条例

議案第5号 北塩原構造改善センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

議案第6号 北塩原村活性化センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

議案第7号 北塩原村生活改善センター設置に関する条例の一部を改正する条例

議案第8号 北塩原村コミュニティーセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

議案第9号 北塩原村自然環境活用センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

議案第10号 北塩原村保健センター条例の一部を改正する条例

議案第11号 北塩原村墓地公園条例の一部を改正する条例

議案第12号 北塩原村生活排水処理施設等設置条例の一部を改正する条例

議案第13号 北塩原村水道条例の一部を改正する条例

議案第14号 北塩原村特定環境保全下水道条例の一部を改正する条例

議案第3号から14号までは平成26年4月1日からの消費税率の引き上げに伴い、各施設の使用料等について、税率増分に対応した変更を行うもの。

議案第 15 号 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
鳥獣被害対策実施隊の隊員を特別職の職員で非常勤の身分とするもの。

議案第 16 号 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

通勤手当の改正。

災害派遣手当に武力攻撃事態等災害派遣手当及び新型インフルエンザ等緊急事態派遣手当に含めることの改正。

議案第 17 号 議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

議案第 18 号 村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

議案第 19 号 教育長の給与、勤務時間その他勤務条件に関する条例の一部を改正する条例

議案第 20 号 職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例

第 17 号から 20 号までは、車賃の改正（1 Km につき 25 円→50 円）

議案第 21 号 北塩原村重度心身障害者医療費の給付に関する条例の一部を改正する条例

「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」の施行に伴う条例の改正。

議案第 22 号 北塩原村消防団の設置等に関する条例の一部を改正する条例

団員の定員及び配置の見直し。

団員定員：213 名→203 名、 副本部長の階級を「副分団長」→「分団長」。

議案第 23 号 北塩原村国民健康保険税条例の一部を改正する条例

地方税法施行令等の改正による所要の改正。

議案第 24 号 北塩原村道路占用料徴収条例の一部を改正する条例

税率の改正と 1 ヶ月未満の占用料の額に消費税率を規定するもの。

議案第 25 号 北塩原村法定外公共用財産の管理に関する条例の全部を改正する条例

「法定外公共用財産の占用料」と「河川流水占用料等」について分割し、

1 ヶ月未満の占用料の額に消費税率を規定するもの。

議案第 26 号 北塩原村河川流水占用料等徴収条例

新たに「河川流水占用料等」を規定するもの。

議案第 27 号 北塩原村生涯学習センター条例

村民の生涯学習の機会を拡充するため、北塩原村生涯学習センターを設置するもの。（旧大塩小学校）

議案第 28 号 平成 25 年度北塩原村一般会計補正予算（第 6 号）

桧原漁業協同組合孵化施設整備支援事業、子ども・子育て支援制度システム構築事業、
公共施設等維持補修基金積立金、工場等立地補助金、除雪対策費の増額、
村道整備事業費の減額等 総額 1 億 1,158 万 2 千円の増額。

議案第 29 号 平成 25 年度北塩原村国民健康保険事業費特別会計補正予算（第 3 号）

電算システム改修、国県支出金過年度分精算による 61 万 4 千円の増額。

議案第 30 号 平成 25 年度北塩原村特定環境保全下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）

下水道事業（国補助）の精査による工事費の減による 605 万円の減額。

議案第 31 号 平成 25 年度北塩原村介護保険事業特別会計補正予算（第 2 号）

【保険事業勘定】介護給付費の増による 570 万 3 千円の増。

【介護予防サービス勘定】介護予防サービス計画費収入の増による 22 万の増。

議案第 32 号 平成 25 年度北塩原村後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）

保険料還付金の増等による 1 万 5 千円の増。

◎審 議 結 果 一 覧

■ 3 月定例会

○：賛成 ×：反対

議長は採決には加わらない

| 議案番号 | 若林 幸子 | 蟹巻 尚武 | 五十嵐 力雄 | 大竹 良幸 | 小椋 元 | 相原 和之 | 五十嵐 正典 | 五十嵐 善清 | 遠藤 春雄 | 小椋 義正 | 遠藤 祐一 | 小椋 眞 | 議決結果 (賛成：反対) |
|----------|----------|----------|-----------|----------|---------|----------|-----------|-----------|----------|----------|----------|---------|-----------------|
| 議案第 2 号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 可決 (11 : 0) |
| 議案第 3 号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 可決 (11 : 0) |
| 議案第 4 号 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 可決 (10 : 1) |
| 議案第 5 号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 可決 (11 : 0) |
| 議案第 6 号 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 可決 (10 : 1) |
| 議案第 7 号 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 可決 (10 : 1) |
| 議案第 8 号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 可決 (11 : 0) |
| 議案第 9 号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 可決 (11 : 0) |
| 議案第 10 号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 可決 (11 : 0) |
| 議案第 11 号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 可決 (11 : 0) |
| 議案第 12 号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 可決 (11 : 0) |
| 議案第 13 号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 可決 (11 : 0) |
| 議案第 14 号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 可決 (11 : 0) |
| 議案第 15 号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 可決 (11 : 0) |
| 議案第 16 号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 可決 (11 : 0) |
| 議案第 17 号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 可決 (11 : 0) |
| 議案第 18 号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 可決 (11 : 0) |
| 議案第 19 号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 可決 (11 : 0) |
| 議案第 20 号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 可決 (11 : 0) |
| 議案第 21 号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 可決 (11 : 0) |
| 議案第 22 号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 可決 (11 : 0) |
| 議案第 23 号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 可決 (11 : 0) |
| 議案第 24 号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 可決 (11 : 0) |
| 議案第 25 号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 可決 (11 : 0) |
| 議案第 26 号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 可決 (11 : 0) |
| 議案第 27 号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 可決 (11 : 0) |
| 議案第 28 号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 可決 (11 : 0) |
| 議案第 29 号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 可決 (11 : 0) |
| 議案第 30 号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 可決 (11 : 0) |
| 議案第 31 号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 可決 (11 : 0) |
| 議案第 32 号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 可決 (11 : 0) |
| 議案第 33 号 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ※1 — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 可決 (9 : 1) |
| 議案第 34 号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 可決 (11 : 0) |
| 議案第 35 号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 可決 (11 : 0) |
| 議案第 36 号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 可決 (11 : 0) |

※1：表決宣告時に議場内に現存しないため表決に加わらない、(会議規則 79 条)

| 議案番号 | 若林 幸子 | 蟹巻 尚武 | 五十嵐 力雄 | 大竹 良幸 | 小椋 元 | 相原 和之 | 五十嵐 正典 | 五十嵐 善清 | 遠藤 春雄 | 小椋 義正 | 遠藤 祐一 | 小椋 眞 | 議決結果 (賛成：反対) |
|----------|----------|----------|-----------|----------|---------|----------|-----------|-----------|----------|----------|----------|---------|-----------------|
| 議案第 37 号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 可決（11：0） |
| 議案第 38 号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 可決（11：0） |
| 議案第 39 号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 可決（11：0） |
| 議案第 40 号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 可決（11：0） |

- 議案第 2 号 生活支援ハウスの指定管理者の指定について
- 議案第 3 号 北塩原村立学校施設使用料条例の一部を改正する条例
- 議案第 4 号 北塩原村体育施設条例の一部を改正する条例
- 議案第 5 号 北塩原構造改善センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第 6 号 北塩原村活性化センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第 7 号 北塩原村生活改善センター設置に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第 8 号 北塩原村コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第 9 号 北塩原村自然環境活用センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第 10 号 北塩原村保健センター条例の一部を改正する条例
- 議案第 11 号 北塩原村墓地公園条例の一部を改正する条例
- 議案第 12 号 北塩原村生活排水処理施設等設置条例の一部を改正する条例
- 議案第 13 号 北塩原村水道条例の一部を改正する条例
- 議案第 14 号 北塩原村特定環境保全下水道条例の一部を改正する条例
- 議案第 15 号 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第 16 号 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第 17 号 議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第 18 号 村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第 19 号 教育長の給与、勤務時間その他勤務条件に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第 20 号 職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第 21 号 北塩原村重度心身障害者医療費の給付に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第 22 号 北塩原村消防団の設置等に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第 23 号 北塩原村国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- 議案第 24 号 北塩原村道路占用料徴収条例の一部を改正する条例
- 議案第 25 号 北塩原村法定外公共用財産の管理に関する条例の一部を改正する
- 議案第 26 号 北塩原村河川流水占用料等徴収条例
- 議案第 27 号 北塩原村生涯学習センター条例
- 議案第 28 号 平成 25 年度北塩原村一般会計補正予算（第 6 号）
- 議案第 29 号 平成 25 年度北塩原村国民健康保険事業費特別会計補正予算（第 3 号）
- 議案第 30 号 平成 25 年度北塩原村特定環境保全税水道事業特別会計補正予算（第 1 号）
- 議案第 31 号 平成 25 年度北塩原村介護保険事業特別会計補正予算（第 2 号）
- 議案第 32 号 平成 25 年度北塩原村後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）
- 議案第 33 号 平成 26 年度北塩原村一般会計予算
- 議案第 34 号 平成 26 年度北塩原村国民健康保険事業費特別会計予算
- 議案第 35 号 平成 26 年度北塩原村簡易水道事業費特別会計予算
- 議案第 36 号 平成 26 年度北塩原村特定環境保全下水道事業特別会計予算
- 議案第 37 号 平成 26 年度北塩原村簡易排水施設事業特別会計予算
- 議案第 38 号 平成 26 年度北塩原村農業集落排水事業特別会計予算
- 議案第 39 号 平成 26 年度北塩原村介護保険事業特別会計予算
- 議案第 40 号 平成 26 年度北塩原村後期高齢者医療特別会計予算

一般質問 1

10番 小 椋 義 正



答

意欲と能力のある若者に留学する機会を支援することは意義あることと考えている。

村独自で海外留学支援制度を創設した場合、知名度はアップすると考えられるが、少子化対策の一環とするには、ほかの施策との総合的な対策が必要と感じており、今後とも前向きに検討したい。

1 人材育成当村知名度アップによる少子化対策について

【問】当村ではこれまでニューギランドや、昨年から台湾へ中学生を派遣して国際交流をしているが、今後、村として海外留学支援制度を設け、村の子どもたちの国際化につなげていく考えはないか。

また、この海外留学支援制度によって当村の知名度アップにつながり、さらには少子化対策にもつながってくると考えるが、村としてどのように考えているか。

2 磐梯山防災について

【問】北塩原村、猪苗代町、磐梯町で作成した磐梯山火山防災マップと、村の北塩原防災マップでは避難所の数が異なるが、その整合性はとれているのか。

早稲沢の生活改善センターは避難所として指定されているが、老朽化が進んでおり避難所として機能するのか。

災害はいつおこるかかわからないので、早急に各避難所にストープ等の備品や備蓄品をそろえる必要があると考えるが。

今後の大塩松原線の除雪体制のことを考えたとき、避難経路の変更もありうるのか。

答

3町村で作成したものは火山防災に対する防災マップであり、それを元にその他の災害にも対応した形のものが北塩原防災マップなので整合性は取れている。

早稲沢の生活改善センターについては初期・一時的な避難所としての機能は十分に果たせるものと認識している。



△突然起こる災害に対応するため、早期に避難所への備品を設置すべき。(写真は北塩原村民体育館)

避難所としての機能は十分に果たせるものと認識している。

災害備蓄品については食料品や毛布等を現在備蓄している。今後、松原裏磐梯地区で1ヶ所、大塩北山地区で1ヶ所程度にまとめて保管したいと考えている。今後も備蓄品については計画的に進めていきたいと考えている。

平成26年度は大塩松原線の除雪を行う予算計上をしている。

3 農産物の販路について

【問】村内では特産品開発やブランド品開発を進めているが、販路が決まらず売れるのかどうか心配な状況がある。首都圏での販売ということが重要であり、県でもアンテナショップに力を入れたり、会津でも独自に設けているところがあると聞いている。今後村でも独自にアンテナショップを設けるなど販路拡大についての考えはあるのか。

答

早稲沢地区については地元のスーパードと提携し、契約栽培という形で現在軌道に乗っている状況である。

また東京農業大学より、月に1度開催される「マルシェ」への参加を提案されており、それへの参加や、県のアンテナショップの利用、杉並区関係と連携等から販路拡大を図りたいと考えている。

一般質問 2

5番 小 椋 元



1 指定管理者制度について

【問】指定管理業務委託料の算定方法はどのように行っているのか。また経費の見直しは考えないのか。

指定管理者制度の運用は上手くしているのか。

ラビスパ裏磐梯の村民利用者数はどのくらいいるのか。

答

施設ごとに指定管理者指定時に管理運営に必要な経費を算定している。各施設、指定期間ごとに協定費の見直しを行っている。

平成18年度に指定管理者制



△ラビスパ裏磐梯の今後のあり方について検討するべきでは。

度を本格的に導入してから8年が経過しようとしている中、制度の目的に沿って、適正な管理と住民サービスの向上が図られていると考えている。

ラビスパ裏磐梯利用について、ここ5年間の入館者数は年間6万人から8万人の間で

推移しており、村民の利用は約5%から7%の割合である。

2 農水産業の振興について

【問】農水産物の六次化をどう進めていくつもりなのか。後継者がいなくなってきたお

答

り六次化を進めるのであれば早急に行う必要があると考えているが。
高原野菜畑の風景が「日本で最も美しい村連合」への加盟理由の一つであるが、その風景を残していくための考えはなにか。

農産物については東京農業大学との連携による農産加工品の試作等の実施や新商品の開発を進めるとともに販路拡大を進めていきたい。

水産物については、国の農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業により、松原漁業協同組合が事業主体となりワカサギの孵化施設整備を行う予定である。

高原野菜畑の風景の維持については早稲沢地区の皆さんとともに遊休農地を出さないよう維持管理に努めていきたい。

3 世帯数、人口について

【問】村の広報と新聞報道に

よる人口数、世帯数が一致していないが、その理由はなにか。

また、今後統一した人口数とすることができないのか。

答

村広報で公表している数字は住民基本台帳に登録されている数として公表している。各新聞での発表は、福島県が公表している現住人口調査に基づく数字としているため異なっている。

それぞれ調査の方法が違うため数字は異なるが、村としてはこれまで同様に住民基本台帳に登録されている数を公表していく。

4 福祉灯油について

【問】村単独でも福祉灯油制度の導入をする考えはないのか。

答

今年度、村での事業実施は考えていない。

一般質問 3

4番 大竹良幸



住民のご理解と用地の提供なしには拡幅工事は不可能と考えられる。

答

【北裏線、北畑線】
【問】さくら小学校前から3区までの区間については、北裏橋を渡る際に切りかえしながら通勤する方もおり大変不便である。畑の部分など拡幅するに簡単な場所もあると思うがその考えはないのか。

用地の提供さえ得られれば可能だと考えている。用地については現時点では確定していないため、今のところ計画していない。

【村ノ内・坂ノ上線】

【問】構造改善センターから南の路線について拡幅や側溝の蓋がけの考えはないか。

答

地区からの要望もなく、村としての事業計画もない状況である。地権者の協力が得られれば落蓋式側溝を入れることにより蓋がけすることは可能と考えている。

【下吉東線】

【問】下吉地内に福祉施設ができるが東側から出る場合、下吉集会所から北へ向かうか、東の神社前を通ることになると思うが、集会所から国道までの区間の拡幅の考えはないか。

また神社前から南に約30mまでの区間の拡幅の考えはないか。

答

地区からの要望もなく、村としての事業計画もない状況である。集会所から北の区間は人家により拡幅は難しいと考えている。

神社から南の路線は水路が両側にあり、その水路を動かすことによりかなりの用地が必要と考えられ、今すぐという状況にはないと考えている。

2 平成26年度の農業振興策

について

【問】平成26年度の各作物の生産高、販売高の目標値はいくらか。

村、農協が一体となり経営指導会等の積極的な開催の考えはないか。

現在、海外での日本食のブームがあると聞くが、会津米を海外へ輸出し振興を図る考えはないか。

答

米の価格が年々下がっており、園芸作物に力を入れながら、平成25年度と同程度の販売高を望めればと考えている。

東京農業大学と連携し、農業関係者との話し合いの場を5〜6回程度開催する予定で考えている。

近隣市町村、県、農協を含めた会議の中では、現在輸出までの話が出ていない。

1 北山地区内の村道整備について

【北山下吉線】

【問】北山会津若松線交差点から東に国道459号までの拡幅の計画はないのか。
薬師入口までの道路の拡幅の計画はないのか。

答

平成26年度に壇の前橋から県道北山会津若松線までの区間153mを計画している。

薬師入口までの村道は屈曲が多く、狭隘であり大型車両の通行に支障をきたしている。この区間の拡幅には地域



△早期の拡幅工事をするべき。(北山下吉線)

一般質問 4

6番 相原和之

1 旧国民宿舎五色沼跡地利
用について

【問】旧国民宿舎五色沼跡地は現段階で駐車場整備、バスターミナルに利用する計画となっているが、広大な敷地のためさまざまなイベントにも対応でき、村民や観光客も利用できる多目的施設を設置すべきでは。

またこの跡地利用に関して、観光関係者や地元の方々ととの協議は行ったのか。

また協議の際、住民からの意見を取り入れていく考えはあるのか。

答

現在バスターミナル機能を有する駐車場、広場として整備したいと考えている。路線バスや観光バスの出入りにより、観光客の人の流れが出てきたならば、利用者が利用する施設整備をする必要もあると考えている。

平成25年度にバスターミナル、駐車場の配置等の基本計画が完成したばかりであり、現在協議は行っていない。

どのような施設が利用者に必要とされ、裏磐梯の観光振興に資するのか、関係者の意見も踏まえながら進めていきたい。



△裏磐梯に必要なのは、多目的施設であり、早期に計画を立てるべき。
(H25年に村が購入した、旧国民宿舎五色沼跡)

2 雇用の場の創出について

【問】企業誘致に関しては今後期待するところであるが、ただ企業を待っているだけの状況や、誘致したとしても村民の雇用につながるには時間がかかると思う。企業誘致と並行し、村が第3セクター等を起こし、たとえば発電事業や通年農業施設、下水道管理などの会社により、村民の雇用を生むような考えはないのか。

答

企業誘致に関しては数社より事業計画、事業構想を受けている状況にある。

村の施設の設置や運営の状況から、新しく村が出資する会社をすぐ設立する状況には現在ないものと考えている。



3 児童減少対策について

【問】平成26年度以降の幼稚園入園者数は減少傾向にあり、将来の北塩原村にとって危機的な状況になりつつある。充実した教育目標や環境整備を行っても、安定的に児童の人数が続いていかなければ未来ある北塩原村は成り立たなくなってしまう。早急に対策を立て、実施していかねければならないと考えるが村の考えは。

答

平成26年度においては、生活の基本である、「働く場」と「住むところ」が必要である点に着目し、企業誘致や既存企業の事業拡大等の支援、住宅用地の調査を実施することにより、雇用の場と住宅用地の確保を合わせて実施する事業に重点的に取り組んでいく考えである。

一般質問 5

1 番 若林 幸子



1 村の補正予算について

【問】村の補正額は、当初予算より最終的に上回っているがその理由は。

答

平成25年度の一般会計予算額は、当初予算額で約30億8千万で今回提案している補正予算後の金額が、約34億2千万であり、今年度6回の補正により約3億4千万を増額している状況である。

2 非常勤・特別職の人選と報酬について（消防団除く）

く

【問】各非常勤特別職の人選について各機関に精通した者を公平に選ぶべきだと思いがどの様に選んでいるのか。

また重複して任命されている場合、報酬も二重に支給されるのか。

答

各委員にふさわしい方を議会の議決など条例等に沿った手続きのもと人選している。報酬についても法律に定められたとおりに執行している。

3 北塩原村の農業と観光のPRについて

PRについて

【問】村の「ゆるキャラ」を作成し、PRしていく考えはないか。

答

現在、村の「ゆるキャラ」

を制作する考えはない。

4 北塩原村60周年のあゆみについて

【問】これまで40周年、50周年等、記念誌を発行しているが、60周年の記念誌を発行する考えはあるのか。

答

60周年記念誌を作成する考えである。

5 人口増対策としての住宅用地等の確保のための調査について

調査について

【問】村有地は村内様々あると思うが、裏磐梯と北山の両方につくる予定なのか。

答

住宅用地を確保するという調査事業として全村を対象に行う考えである

6 職員の健康被害、心のケア、事故に対する対応について

について

【問】これまで議会で何度か職員被害の質問があったが、一向に改善がみられない、雑誌等にも掲載されていたが、それを受けて専門機関等でのカウンセリング等が必要と考えるが、村ではどう対応していくのか。

答

村では企業や自治体等でのメンタルヘルス研修に実績の

ある会社に資格者を派遣していただき、3月に研修会を実施する計画である。

7 学力向上について

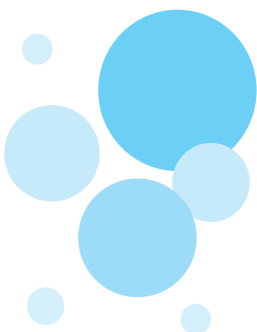
【問】首都圏では週に1回、担任の先生が補習授業をしたり、補習授業担当の臨時職員を雇用し学力向上の対策を取っているが村でも同様の対応はできないのか。

答

補習授業については、学校教育指導委員会において、どのような対応が可能なのか検討が必要と考えている。



▷60周年記念誌をつくり、村のあゆみをしつかりと未来へ残すべき。



一般質問 6

3番 五十嵐 力雄



1 村政運営方針について

【問】村が一体化することと地域の均衡ある発展が村政運営の大きな目標であると考えているが、今後どのように進めていく考えなのか。

また予算配分の見直しなど、村はどのような変革を行っていくのか。

答

北塩原村は広い面積を有しており、地形や気象条件、産業構造などが地域によって異なっていることから、村の一体化、さらには地域の均衡ある発展は村政運営の大切な視

点であると考えている。村の更なる発展、村民の皆様が誇りを持てる村づくりを目指すため、村民の一体感の醸成に努めていく必要があると感じている。

平成26年度の予算案については第4次総合振興計画に基づく積極的な事業の創出、村民の暮らしや村民の声を受け止めた事業の企画、事業の見直しや廃統合などの財源の確保、そして必要性、緊急性を判断した重点選別主義事業の徹底などを基本方針として、目的達成のため各種の事業を実施できる予算を編成した。村民の皆さんが夢と希望を持って健康的に暮らせるよう、村民の方々と企業、各種団体と行政が協働で村づくりを推進していくことを目標とし、諸条件の整備や意識の変革に取り組んでいく。

2 会津米沢街道交流事業について

答

【問】会津米沢街道交流事業は継続的に行われているが、この街道は歴史上の人物、たとえば伊達政宗、上杉景勝、伊能忠敬、吉田松陰や土方歳三などが歩いたことが知られているが、そうした人物が歩いたということを知らせるための看板等の設置してもらいたいと思うが。

会津米沢街道は議員ご指摘のとおり歴史上の人物が歩いており、大塩に1か所、松原歴史館に1か所それぞれ新島八重や伊能忠敬等が歩いたという説明を付けた看板を設置している。



▷会津米沢街道に設置してある説明看板。

会津・米沢街道と大塩宿

■会津・米沢街道

会津・米沢街道は、会津五街道の一つで、若松と米沢(141km)で結んでいました。会津藩の国境に位置する北塩原村には、会津佐倉から村に向かって山道が始まる。大塩宿の北、街道の中間・中の七里、松原宿の中、そして、松原宿下の麓ノ原に一里塚が建ちました。この街道沿いには、会津佐倉藩の江戸中へ行った参勤交代、広大な松林と道旁から流れた山道、会津守備の森、松原の山城群と金剛山、それに、街道を取り囲まれた松原の松林、峠の松林や松並木など、歴史資源が数多く存在しています。

この街道沿いに数多くの歴史資源を未来に残したい場所として認定され、北塩原村は平成22年9月に「日本で最も美しい村」に加盟しました。

■会津の山道

大塩宿は、地名のとおり昔から賑わった場所です。『新編会津風土記』にも、宿を探った塩井が記述され、製塩を産する者が住んでいたと書かれています。会津では山道と称し貴重な資源でした。

村人はこれを愛し、江戸時代には会津藩へ納め、明治期には皇室にも献上された、由緒ある会津の山道です。

■大塩温泉とともに発展した大塩宿

街道沿いには、大塩、松原の二つの宿場がありました。大塩は会津藩が塩井から塩を採った温泉や温泉蔵がある宿場です。大塩宿を流るる温泉が分かります。階段を上ると温泉神社があり、入口には文化8年(1811年)に建てられた道標があります。階段の両側には、中島氏の末裔で後継を継いだ大塩氏の屋敷跡があり、会津藩が敷かれた高札場がありました。

■街道を歩いた歴史上の人物

◇新島 八重

戊辰戦争では、男爵と鉄道建設に貢献しました。後に新島英和、夫を助け、同志社女学校(同志社大学)の発展につくしました。平成25年大河ドラマ「八重の桜」の主人公です。明治3年(1870年)頃に街道を通り、米沢へ向かっています。

◇新島 寛

同志社女学校を創設しました。福澤諭吉らと並び、明治六人教育家の1人に数えられています。

明治15年(1882年)8月11日、大塩から人力車で街道を通り、松原の大塩宿に宿泊しています。

◇伊能 忠敬

17年をかけて全国を測量し、文化13年(1816年)に「大日本沿海輿地全図」を完成させた測量家。享和2年(1802年)8月2日に大塩宿に宿泊。3日、街道の途中にある岩崎峠で頼山の佐原より湯殿山道への一行に出会い、頼山の千葉屋在屋忠敬に音問を結ぶようになります。その日は松原の頼山館(松原歴史館)に宿泊しています。

◇吉田 松陰

長州藩士、思想家、教育者、地誌研究者で明治維新の精神的指導者・理論家として知られています。

嘉永5年(1832年)3月27日に街道を通り、大塩宿に宿泊しています。山道に関する記録を『東北旅日記』に記しています。

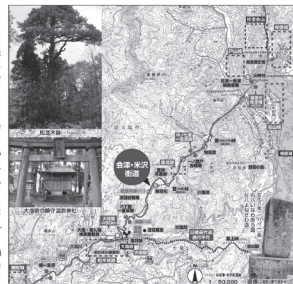
◇大前 圭介と土方 歳三・斎藤 一 戊辰戦争の際、新政府軍に討死し、日清戦争の大島元帥や義経館館長の土方歳三ら約千人が要路4年(1868)8月23日、大塩宿に集結しています。

◇伊達 政宗

出羽国と陸奥国の戦国大名。陸奥仙台藩の初代藩主。伊達政宗の軍勢は、天正13年(1585年)に松原を攻め、大塩の松木城を陥落させるために街道を通りました。

◇上杉 景勝と斎藤 義経

上杉景勝は豊後藩における大老の一人。直江兼続は名老として景勝を支えました。家臣らは、会津120万石から米沢100万石に減封され、下向する時、街道を通っています。



北塩原村教育委員会

一般質問 7

2番 蟹巻尚武



1 名称「裏磐梯」について

【問】「裏磐梯」という名称については地図上にはないが、深く慣れ親しまれている総称であるが、この名称をしっかりと地名として未来へ残していく必要があると感じている。地名を変えることには住民の方々の拒否感もあると思うが、コンサルタント等を用い、地名として「裏磐梯」を導入することにより、どれだけの波及効果が生まれるかという数字を示しながら、地名変更について進めていくべきではないかと考えるが村の認識は。

現在村には、「大字松原小磐梯山」という地名がある。ここは誰も住んでいない磐梯山の火口壁のところであり、まさに「裏磐梯」である土地であり変更しやすい所なのではないかと考えている。ここを「裏磐梯」という地名に変更する考えはないか。

答

「裏磐梯」という地名は地域の方々に親しまれているところであると認識している。今後、住民の方々と関係団体等々と協議しながら変更してもいいという方向性が出れば検討していきたいと考えている。またその進捗の中でコンサルタントを入れるという判断もあるものと考えている。「字小磐梯山」の部分については、いいところではないかと思うが、まずは機会あるごとに地域住民の方々と相談させていただきながら考えていきたい。

2 山形県上山市とのスポーツ合宿に係る連携、交流について

【問】この事業の現在までの進捗状況は。

事業を推進するためトップセールスは当然に必要であると考えているが、その他のようにPRしていく考えなのか。

またそれぞれの特性を生かす中で、北塩原村の売りは早稲沢をステーションとし、松原湖を周遊できるところだと思っている。その中でスポーツパーク松原湖という施設において、全天候型のコースが2レーンしかなく手狭であるように感じている。今後、スポーツパーク松原湖や全体的な北塩原村のコース整備の計画はあるのか、

答

平成26年度の合宿者数に対する数値目標はあるのか。

お互いのトレーニング施設などの利点を生かしスポーツ合宿誘致に関して協力するこ

とを目的に事業を推進している。現在共同によるパンフレット作成や陸上競技大会プログラム等への広告掲載、関東地方への両首長のトップセールスを行っている。

村の合宿利用支援事業の結果、平成25年度には、合宿利用が震災前の水準まで戻ってきたところである。平成26年度は新規団体の合宿誘致を図り、合宿利用者数について、対前年比20%増を目標に事業展開していきたい。

またスポーツパーク松原湖のコースについて、全天候型が2レーンあるが、利用者が



△上山市と連携し、効果的なPRで合宿者の増加を図るべき。



あなたも
議会を
傍聴して
みませんか

ご希望の方は、
議会事務局へ
ご連絡ください。



お知らせ

次回定例会は **6月上旬頃** 開会予定です。

※ 定例会会期日程、一般質問一覧はホームページでもご覧になれます。
議会だより、議会傍聴に関するお問い合わせは議会事務局まで。

TEL : (23) 3263 FAX : (25) 7358

編集後記

議会は、皆様の声を市政に反映する大切な機関であり、何が議論の中心となり、どのように話し合われたのかを伝えるのが「議会だより」です。

皆様方からの、議会だよりに対する率直なご意見をお寄せください。

編集委員

委員長 大竹良幸
副委員長 蟹巻尚武
委員 五十嵐善清
委員 若林幸子
委員 小椋真